

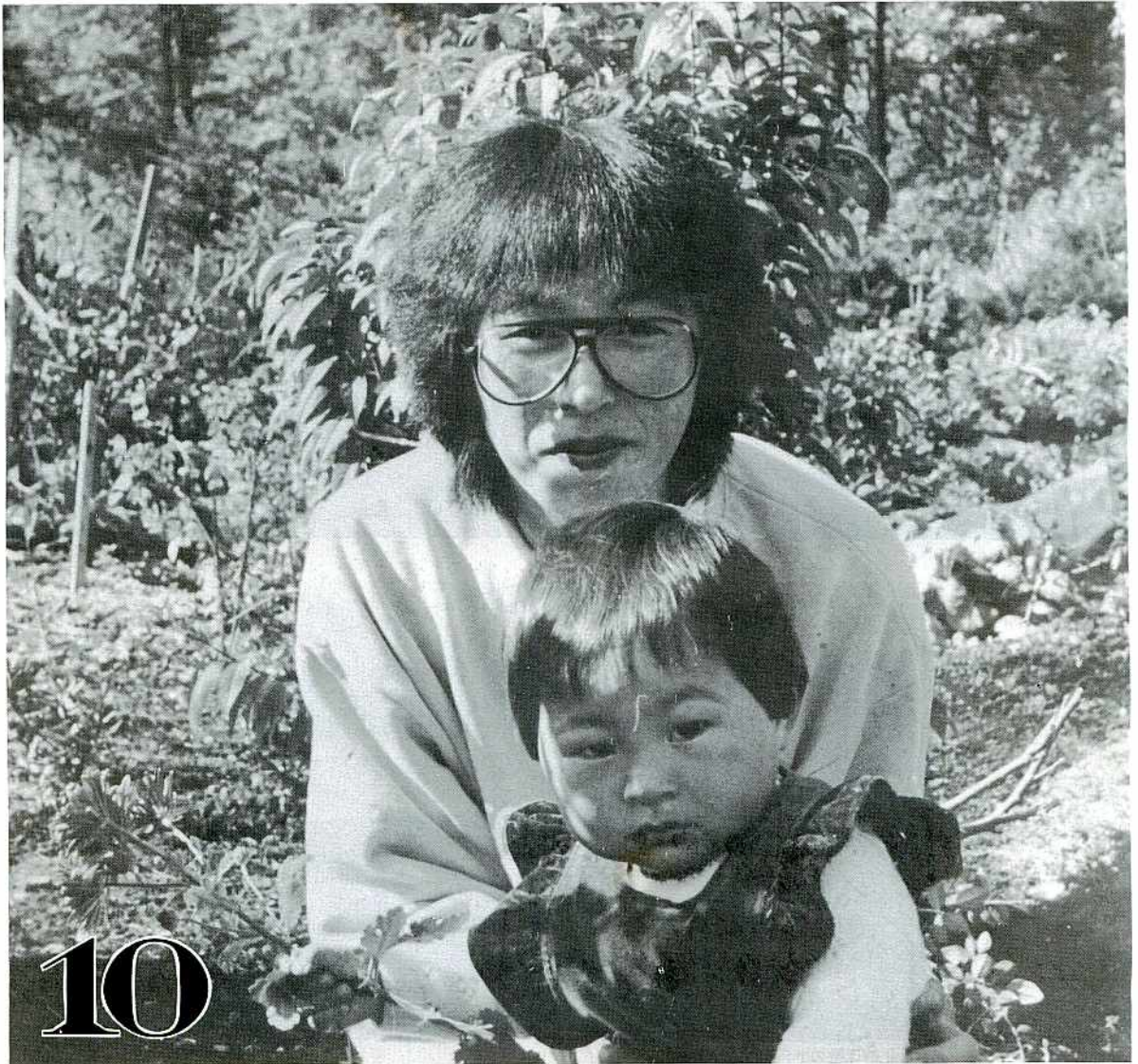
なか|べつ 農協だより



第 118 号

昭和59年10月

発行 中標津町農業協同組合
編集 営 農 部
印刷 アート印刷株式会社





澱粉工場の 操業真最中

操業真最中

今年の馬鈴薯の作況は書さが災いしてか、当初見込まれた収量をやや下廻るのではないかと思われます。

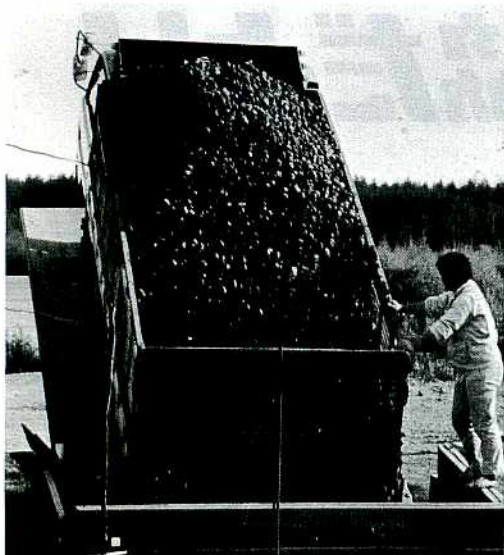
なお澱粉の含有率も今のところ最低の状況で推移しておりま

す。今年の操業については耕作農家の協力を得ながら目標を五十万俵に設定し、操業を続けて

おります。現在のところ天候にも恵まれ順調な中で進んでおります。

出荷については切符制で実施しているので宜しくご協力願います。

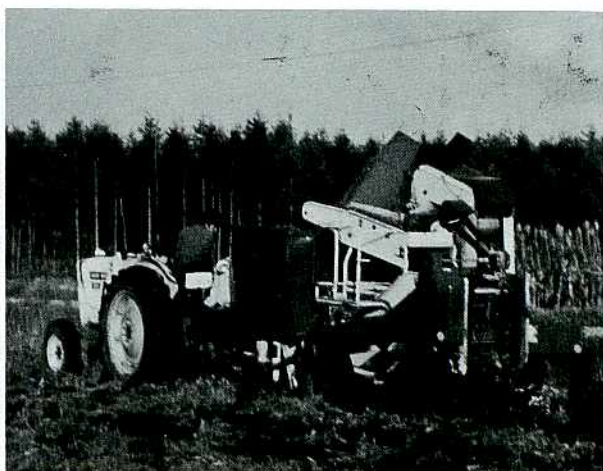
収量は凍結防止の意味からも遅れないよう作業を進めて下さい。



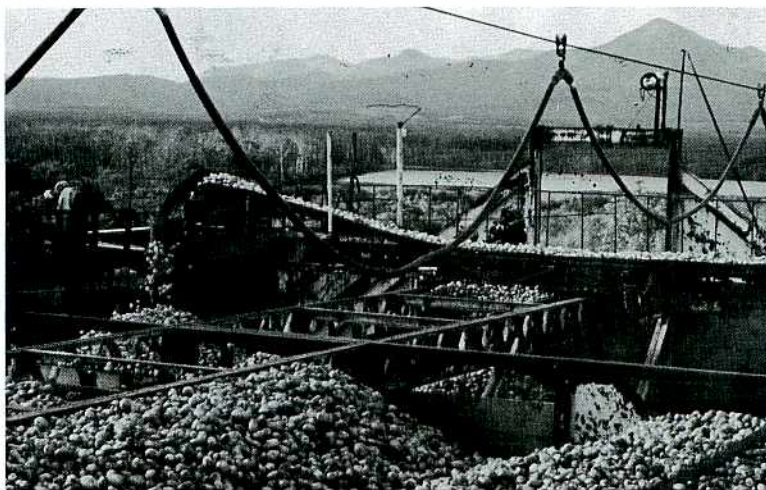
さあ、どんと運ぶぞ!



今年はずぶそろいだ!



さあ、いよいよ本番、がんばるぞ!



3日分処理量のホテトビンもほぼ満杯

乳牛消流府県対策と 購買牛追跡調査報告

関西編

生産委員長 秋山政雄

九月十八日より九月二十三日

の六日間に至り関西四国方面に

乳牛消流拡販と追跡調査に私を

始め、山本管理委員長、竹村理

事、岡部監事、入倉畜販課長の

五名が参加し、府県の酪農業界

を見聞して参りましたので御報

告致します。

① ホクレン大阪支店鶴野考査

役に関西方面の酪農状況を聞

きました。

② 今夏は猛暑にて乳牛のいたみ

が多かった。しかし、肉牛価

格の低迷と規模の拡大が望め

ず、乳牛の導入は更新と補充

程度と思われる。

③ 肉牛については和牛親牛が、

前年対比約一四〇%がと殺さ

れ肉価がくずれて居り、輸入

肉等もあり肉牛の価格高は当

分の間望めない。

④ 牛乳は熱夏により前年対比九

〇%、九四%で伸びがなく、

一方で加工乳が伸びた関係か

ら今後加工乳工場は存続され

るだろうとの事。

⑤ 兵庫県 A 畜産

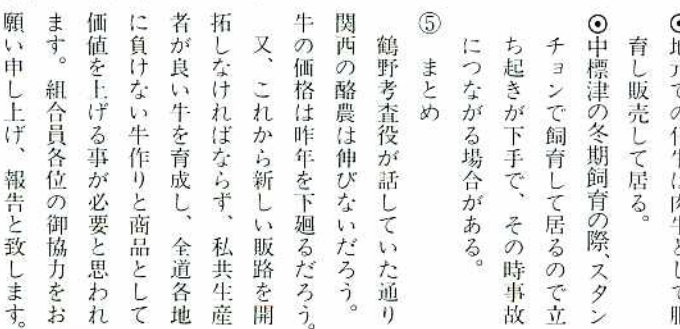
⑥ 視察農家四戸

⑦ 都市化による今後酪農を経営

するには無理な地域で、現在



高松市西部農協での研修風景



徳島市の鴻野牧場ほとんどの乳牛は中標津産

⑧ 此の地域は全道各地から乳牛

が導入されて居り、中標津の

牛と比較され、牛の体格、又

價格的にも考えてほしいと要

望された。

⑨ 経産牛は一産搾りで肥育販売

の型態であった。

⑩ 香川県高松西部農協

⑪ 谷沢組合長を始め各部課長に

御挨拶を申し上げ、今後の取

引等の依頼を申し上げました。

⑫ 視察農家三戸

⑬ 中標津の牛は事故もないし、

おとなしいと好評であった。

⑭ 育成牛はなく、中標津の育成

牛に期待して居るとの事です

が、この地域も後継者が、会社

役所に勤務し一代酪農と思う。

⑮ 徳島県 B 畜産

⑯ 視察農家三戸

⑰ 永年の取引先で、すでに五産

目に入る牛もあり、牛も丈夫

で好評であった。尚、引続き

導入したいとの事です。

⑱ 地元での仔牛は肉牛として肥

育し販売して居る。

⑲ 中標津の冬期飼育の際、スタン

ションで飼育して居るので立

ち起きが下手で、その時事故

につながる場合がある。

⑳ まとめ

鶴野考査役が話していた通り

関西の酪農は伸びないだろう。

牛の価格は昨年を下廻るだろう。

又、これから新しい販路を開

拓しなければならず、私共生産

者が良い牛を育成し、全道各地

に負けない牛作りと商品として

価値を上げる事が必要と思われ

ます。組合員各位の御協力をお

願い申し上げます、報告と致します。

編東関

① 営農委員長 藤井弘美

例年六月、七月にかけて乳牛の個体販売事業の円滑な推進を計る為、役員又は職員が内地府県の販路拡大と酪農事情の調査を兼ねて、今までに購買した個体の状況を具に調査し今後の販売事業の推進に役立てる目的で今年も全役員が二班に分れて大阪を中心とする関西方面と東京を中心とする関東方面に分散して実施を致しました。更に本年はかねてから乳牛改良同志会から要望のありました生産者の代表が自から乳牛の消流先を視察研修したいとの希望に応じて岡山県と兵庫県に同志会役員三名と職員二名を派遣し、先方との交流を深めました。私は関東方面へ、佐藤監事、齋藤、久我佐々木理事に佐野生産部長の一行に同行して参りましたので、その経過を報告して、組合員の皆さんの此れからの個体販売の参考にしたいと思ひます。

九月十八日中標津空港十時発

千歳経由、東京着一時三十分羽田より東京都神田中央金庫全農Aコープビルに直行し、全農連東京支店に酪農部を訪ね、酪農部酪農課長山上氏と調査役藤本氏に会い、会議室で主として関東地方の酪農事情について説明を受け、大体の概要を認識して全農を退席しました。東京ステーションホテル投宿五時四十分、一日の行程を終りました。

全農による最近の酪農情勢は(一) 生乳の需給の推移は昭和五十一年より五十二年までは年率六%、九%の伸びで過剰生産となり、五十四年以降生乳計画生産の実施により伸びは鈍化した。五十八年後半以降は前年対比百%、百二%で推移し、五十九年六月には全国生産量は九十八・八%に落ち込み、生乳の需給バランスは取れている。なお五十二年七月以降、飲用向原料乳価は1kg百十八円二十一銭に据え置かれ、酪農家の生産意欲が

今一步上らない一方、消費については価格次第で伸びる傾向にあり、特に加工乳及び乳飲料の伸びが大きい。

(二) 乳製品は加工乳原料としての脱脂粉乳の消費は望めるがバターは消費停滞で現況では大きな期待はできない北海道あたりで、バターの消費拡大を図る必要がある。

(三) 乳牛の消流は全農取扱い頭数七千八百頭で、内東京支所取扱いは四千頭であり、将来展示購買方式を重点に系統購買の拡大に努力したい。

今年夏期の暑さでも特に乳牛の傷みは見られないので昨年並の消流はできるものと思われる。

以上が全農東京支所における酪農事情の概要であります。

九月十九日、九時三十分東京駅発、十一時三十分千葉県館山

市着。すでに千葉県安房南部酪農協同組合長関隆氏、理事佐久間氏の出迎えを受け、早速二台の車に分乗し酪農家見学にでかける。南部酪農協は以前三百四十戸五十戸の酪農専門農協であったが、社会情勢の変化に合せ現在百三十戸程度に減少している。

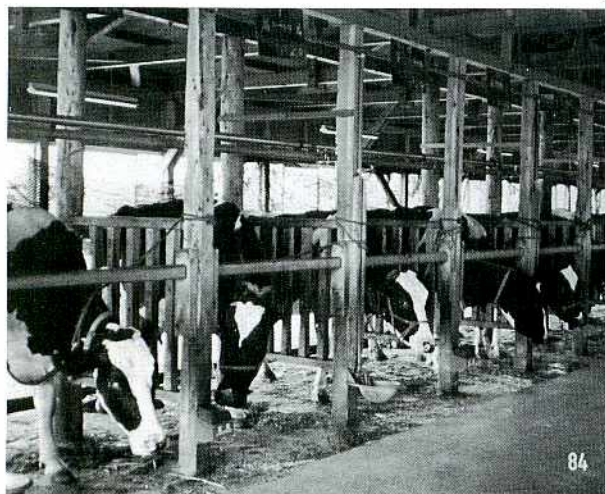
昨年中標津より経産牛百五十頭(農協直販)で導入され、当地の酪農に大きな役割を果たしております。市乳乳価は手取り百十四円で所得率は年々低下しております。

希望していません。また、各酪農家自らの経営合理化に努力しており、この地方の経営は経産牛を管外から導入して一腹搾乳を主体とし、肉牛で処分をする方法で仔牛は肉素牛として哺育し関西方面に出荷しています。

一戸当りの経営規模は搾乳牛二十頭、三十頭で、ほかに肉素牛十、十五頭飼育が平均的です。中標津の牛は体格・能力共に良いので、今後とも導入を希望する牛は九月、十月分産の体高百四十七センチ以上、胸囲百九十九センチ以上、足腰の強い、そして泌乳能力の高い牛を希望しております。価格は三十五万、四十万円を限度としてお互いに信頼出来る取り引きを将来ともしていく必要があるが、今年には七十、八十頭を中標津より導入したいと組合長は説明しております。

関組合長と佐久間理事さん自ら車を運転して案内して頂きましたので大変恐縮しましたが経産牛の販売先としては将来とも希望出来る相手先だと思ひます。

(次号へつづく)



千葉県安房南部の乳牛の舎飼

府県消流地視察報告

今後も中標津乳牛は期待されている

中標津乳牛改良同志会 会長 佐藤 拓

九月中旬、中標津町乳牛改良同志会主催としては初めて、会長、監事、支部長、職員二名の計五名で、岡山県賀陽町農協の酪農情勢及び共進会と兵庫農協本市酪農農協の二カ所を訪れ、

乳牛の追跡調査と拡販に行つて来ましたので共進会等の状況も含めまして報告致します。

▼岡山県賀陽町農協

岡山県賀陽町は、五ヶ村が合併し出来た町で北海道の町のイメージとは異なります。賀陽町農協は、乳牛、和牛、肥育と広い分野で経営をしている酪農家が多く、畜産に力を入れている

農協で、組合員数二、〇〇〇人（ほとんど出稼ぎ）、酪農家戸数七五戸、乳牛一、九〇〇頭、経産牛頭数一、二〇〇頭（一戸平均一八頭）、平均能力五、六〇〇kg（県平均五、五〇〇kg）、乳価一〇七円、一戸平均収入、一〇

〇〇万円、平均草地面積一・五haの平均的酪農家が多い様です。中でも大型経営（五八頭搾乳二八〇t）の酪農家もいます。

飼料は、イタリアン（サイレー、乾草）、ソルゴー、コーン、ビール粕が主で、放牧、運動は一切出来ない状態です。

中標津町農協より乳牛を導入した酪農家数を視察しました。が、牛舎に入りますと牛群の中では目立ってよく、導入牛に対する評判は良い様です。

自家生産牛は、粗飼料、運動不足のためか発育と体積が十分で特に足、腰の欠点の多い牛が目につきます。それだけに欠点を補う北海道乳牛が期待されていると思います。また、農協酪農部会員（一〇名参加）と交流会を持つ場が出来、中標津の酪農状況、現在使用種雄牛数頭のスライドを持参しPRしたと

ころ好評を得、夜遅くまで意見交換し合い有意義な交流会でした。今後とも中標津の乳牛を導入する希望もあり、初産より経済性に適し、中型が良いが、足腰の丈夫で乳器のしっかりした乳牛を希望しています。北海道導入牛を基礎牛としたい意志が強い

ため、それなりに選択には慎重です。特に経済性の追求は旺盛で、より経営にプラスになる乳牛を求めるとは皆さん同じ考えです。経営の一環として個

体販売をするならば主産地としてそれなりに適した乳牛改良は今後共ますます追求されなければならぬと思います。

次



賀陽町30周年記念共進会にて

次は、共進会の模様ですが、一回開催される賀陽町農協共進会は、本年三〇周年記念の年に当り一戸一頭出陳を目指し、乳牛の部では六〇頭が出陳されました。

四部で、審査方法は、北海道と同じですが、日頃の運動、調教不足のため、思うようにならず出陳者も審査員も苦勞の連続であったようです。総体的にオーバーコンディションや乳房形状の悪い牛が多く、その中でも北海道導入牛が上位を占め、上位入賞牛が優等賞、ほか一等賞と全頭入賞牛で地域色のある擬賞の方法です。四部門トップ牛に

中標津町農協よりトロフィー、乳牛改良同志会より特別賞としてパーナーを贈呈し出陳者の盛大な拍手を受けました。昼食を出陳者と一緒に取りながら乳牛

改良、共進会などについてアドバイスし合い友好的な共進会でした。酪農部会員は非常に改良に熱心で、導入牛に対しては種雄牛、母能力、経済性両面より追求し、北海道優秀種雄牛の精液は入手困難な状態のため、本牛、娘牛に対しては相当な期待をかけているのを忘れてはならないと思います。

▼兵庫農協本酪農農協

牛乳の生産、製品、販売まで一環した工場を持つ酪農専門農協です。大手スーパーのダイエー、学校給食が主な販売先ですが現在農協だけの牛乳では不足している状態なので生産を上げるために農協、組合員が努力を続けています。



洲本酪農協懇談会

牛乳販売ルートも、インサイダー、アウトサイダー双方の組合員がいるため複雑化している様です。この地区は大型経営が多く、総頭数一八〇頭、経産牛八七頭と驚くような酪農家があり、狭いながらも運動場を作っている所が目立ち順調に発育している育成牛も見受けられます。半日かけて五七、五八年度に中標

営農技術

瑞境期の

飼養管理対策

北根室地区
農業改良普及所

十月は舎飼期をひかえ、冬型飼料へ移行する大切な時期です。越冬準備を確実に行っていく

と共に、乳牛の個体能力や状況に応じた飼料給与を行い、エサの変化に正確に対応した管理が必要となります。

一、飼料の切り換えは徐々に

八月下旬から九月にかけての秋施肥による晩秋放牧地を確保してない限り十月の放牧草からの採食量は期待できません。

放牧依存度が大きいと乳量は目に見えて減少します。乳量が減少してから、あわてて対策を講じると第一胃内の微生物が粗飼料の急変に対応できなくなり牛の体調が悪くなります。

したがってこの時期における留意点は、①飼料の急変を避け十日間以上かけて切り換えていくこと、②切り換えによる栄養

不足に注意し、乳量の減少を防止することです。

二、越冬用粗飼料の確保

よく春先になってから粗飼料が不足しているというところで高泌乳牛に対してもエサを制限して給与しているケースがあります。春になってからエサの不足に気付いたのでは遅すぎますし、せっかくの牛の能力をひき出すことはできません。

今月は不足飼料を手配したりエサの給与組合せなどを調整して舎飼期に入っていく準備のできる最後の月として位置付け、越冬粗飼料確保量を確認し、必要な手を打つことが大切です。

十一月から来年六月までの期間(二二二日)中の成牛一頭あたりの粗飼料必要量は、サイレージで八、乾草で一・五、を日安とします。若牛ではこの七

〇%、仔牛では三〇%が必要ですが、表一、表二を参照して確保量を確認して下さい。

毎年、ほ場に放置されているビッグベール乾草を見かけますが、表一三が示すとおり、管理の不徹底によるロス是非常に大きなものです。収納または被覆などの措置を早急にとる必要があります。

三、副産物の有効利用

中標津における副産物としては、ビートトップやでん粉柏があります。

ビートトップは消化が良く、栄養価も高いので産乳効果の大きい飼料です。土砂の混入が少く、五〇〜六〇%に予乾したものを給与しましょう。その際カルシウム剤を多目に給与します。

生で給与する場合は二〇誌、サイレージ利用する場合で四〇

誌以内とします。でん粉柏はカロリーが高く産乳効果もありますが、タンパク質や、ビタミン、ミネラル類がほとんどないので、エサ給与の例ですが、飼料計算を実施して要求量に見合った給与を行って下さい。

表-1 サイロ型式別単位容積量

サイロ型式	サイロの容積算出方法	1 m ³ 当り重量
タワーサイロ	半径×半径×3.14×高さ	700kg
バンガースイロ	幅×長さ×高さ	800kg
角形サイロ	タテ×ヨコ×高さ	750kg
スタックサイロ	$\frac{\text{下幅} + \text{上幅}}{2} \times \text{長さ} \times \text{高さ}$	600kg
ビッグベールサイレージ	機種及び原料の水分含量により異なる	1個あたり 500kg

表-4 給与例

乳牛の条件		体重650kg 乳量20kg/日 脂肪3.5%		
飼料名	要求量	DM	DCP	TDN
		17.6kg	1,250g	11.0kg
草サイレージ	例 1	20kg	25kg	25kg
乾草	例 2	5	4.5	4.5
ビートトップ	例 3	15	-	-
ムラサキカブ		-	18	-
でん粉柏		-	-	10
(DM 小計)		(12.3)	(12.3)	(11.9)
ビートパルプ		2	2	2
配合		4.5	4	4.5

表-2 乾草重量

	1個あたり重量	備考
タイトベール	12~15kg	番草ごとや入手先別に一度計り確認する。
ビッグベール	400kg	調製機種により異なる。

表-3 腐敗の厚さとロスの割合

腐敗ロスの厚さ	5cm	10cm	15cm	20cm
ロスの容積割合	6.7%	16.9%	19.6%	25.7%

注：直径145cm×幅160cmの場合

際は組合せに注意しましょう。

低無脂固形分乳の改善対策

雪印乳業KK中標津工場 徳永隆一

無脂固形分は、構成する成分も多く、その変動には先月号で記載したように種々の要因が錯そうしており、かつ、不明点があるが現在の知識、技術をもとにするとき、次のような改善対策が挙げられる。

(1) 飼料給与の適正化

- ① 乳量、乳脂率、体重、妊娠条件、環境、温度等の条件に見合う養分要求量を充足させること。
- ② 良質粗飼料の確保につとめること。
- ③ 高泌乳量期においては、エネルギーの給与が不足しないように。

うに配慮すること。

④ 無機物、ビタミン類を適正に給与すること。

(2) 飼養失宜の防止

⑤ 異常醗酵をおこしやすい飼料および成分的にアンバランスな飼料では、給与時に特に留意すること。

⑥ 飼料の急激な切り換えをさけること。

(3) 暑熱対策

⑦ 夏季における高温多湿によるストレスを極力少なくするように、牛舎構造・飼料給与法な

ど各種の暑熱対策を立てること。

(4) 機能障害および疾病の防除

⑧ 乳房炎などを防除すること。

⑨ 乳成分の形成物質の生産障害となる肝機能障害、あるいは第一胃疾患などを防除すること。

⑩ 乳腺機能の障害要因となる熱性伝染病、その他体温の上昇を伴う疾病を予防すること。

(5) 遺伝的能力の改良対策

⑪ 無脂固形分率を乳牛選抜の一条件として加味すること。例えば、他の条件が同一の場合に

は、無脂固形分率の高いものを選抜すること。

⑫ 遺伝的素質において無脂固形分率の一定水準に満たないものは、経営経済条件のゆるす限り、早期に淘汰すること。

⑬ 種雄牛の選定に留意すること。

⑭ 乳房炎に対する抵抗性の強い個体、系統を選抜するとともに、機械搾乳に適した方向に改良を進めること。

反響を呼んだファームステイ

エーノウツソー? ホントノの連発

へある受入農家より

去る八月、農業委員会、農協より依頼されていた学生ツアーの一行を受け入れることになりました。それは話によると、花嫁探しの一環として実施すること。家族も少なからずこの企画に興味を持たし、また少しでもお役に立てればという気持ちからのものでした。

当日、午後四時ごろ彼女たちがバスでやってきました。その

後、形通りの挨拶、牛舎、牧場の案内、搾乳の見学、手伝いなどで時がたち、夕食を共にしたのは七時半ごろです。その間約三時間半の間、彼女たちは「エーノウツソー? ホントノ!」の連発でした。初めて牛を近くで見た人、触れた人、そして生乳がパイプラインを通してバルクまで運ばれる過程に驚く人、すべてが感動の様子でした。

夕食時、ビールと焼肉でワイワイ、ガヤガヤの中、話しを聞くと、この九泊十日の旅行で一番期待し、一番不安だったのがこの日だったそうです。それは全く環境の異なるところで、しかも、知らない家に宿泊する経験をとどの子も初めて味わうことになったようです。でもそこは現代娘、すぐに家族の一員になりきっているようでした。彼女たちの話しを聞くと、テレビなどでいろいろな酪農の情報は聞くが、これ程近代的設備で、

しかも衛生的だとは思わなかったとか、住宅の立派なものには驚いたなど、多種多様な感想を述べていました。また一泊のファームステイでは本当の酪農の姿が理解できないので農家の方々の都合が良ければ二泊なり三泊はしたい。そして作業衣を着て実習もしてみたい。そうすることによって酪農の十分の一ぐらいは理解できるよう気がする。ただし邪魔になり、迷惑をかけるかも知れませんがというよう

私たちも遠廻りに花嫁探しのこと、酪農のこと、町のことなど説明しましたが、この企画で来年数人でも実習に入り、その中から一人でも花嫁が、また酪農のこと、町のことが少しでも理解してもらい宣伝できたらこの企画は成功だったと思います。

初めての企画と聞いています。が、もし来年も実施するのであれば、本来の実習生と時期が重

ファームステイを終えて

へある女子大生より

広大な牧場。そして、そこに戯れる牛の群れ、その中を速々と続く、まっすぐな一本の道。

これは私のあこがれていた一場面であり、北海道の、しかも中標津でしか見られない光景だと思ふ。

私は広島県尾道市で生まれ育った。尾道は前はすぐ海、そしてすぐ後には山があり、広い土地のない町だ。そんなところで育ってきた私にとって、こんな環境の中で生活ができるこのファームステイは北海道旅行のメインと言っても過言ではなかつ

なることもありすので、もう少し日程などを検討のうえ、より効果のあるファームステイにしたいなと思います。

帰り際、彼女たちいわく、この家のお嫁さんになるのには…との質問があり、また来年は冬に来たいとのことでした。

一人でも多くの花嫁さん（永久実習生）がこの企画で実習生とを祈ります。（受入農家より）

た。本当に楽しみにしていた。そして終えた今、とても感動している。

とても笑い上戸で優しいおじさん、親切で私たちのために、いろいろな気を配って下さったおばさん。昔のいりんなお話を

して下さったり、珍しいものを作って下さった陽気なおばあちゃん。そしてとても腕白で私たちにまとわりついて離れなかつた六才のボク。実習で来ていたお兄さん、お姉さんたち。本当にみんなよい人たちばかり。また、いろんな経験をさせて

もらった。牛舎に入って大きな牛に驚き、豪快なおシッコにたまげ、前日生まれたばかりで、まだ毛の濡れていたかわい仔牛に感激し、すべてが物珍しくすべてが感動的だった。

一般の農家に入って共に生活できるなどとは思ってもみなかったし、このような機会を与えてくれなければ出来なかつた経験だと思ふ。この企画を提案して下さった方に感謝するとともに、私たちを快く受け入れて下さった家族の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいだ。本当にたくさんの人々の愛情に触れ、わずか半日程度の生活をしただけにすぎなかつたけれど、次の朝バスが再び迎えに来た時、寂しく

って、悲しくなって思わず涙が溢れそうになってしまいました。この北海道旅行の何にもましてすばらしい思い出となったと思ふ。

最後におじさんが言ってくれた「また北海道に来た時には必ずお寄りよ」という言葉が今でも耳に残って離れない。本当にすばらしい時であり、楽しい一

時であり、素適な人たちだった。すべてに感謝の言葉を贈りたい。

お礼の言葉

中標津連絡本部長 沢井伸夫

ファームステイで心よく受け入れて下さいました農家の皆様。この場を借りて心より感謝申し上げます。約七百名の学生が農家の方々の温かいもてなしを受け、沢山の想い出を胸に無事帰って行きました。

七月の下旬から九月の初旬にかけて、農家は一年中で最も忙しい時期であることを承知でお願いしたにもかかわらず、中標津町農協、計根別農協両組合員合せて二百十戸余りの農家の方が受け入れて下さいましたことに感謝を致します。

今、わが中標津町も観光資源の発掘に知恵を絞っておりますが、自然の観光資源に乏しい地域であることは皆様ご承知の通りであります。しかし中標津の一番大切な産業である酪農が観光資源になるとは思っても見なかつたことでもあります。

学生レポート、礼状などを見ても、期待と不安の中でそれ

それぞれの酪農家庭に着き、翌朝出発するまでの一夜のことはすばらしいことばかりのようです。心のこもつた家庭料理、心豊かな人々、広大な緑の草地、旅行の想い出は中標津のことばかりのようです。受け入れ農家の方々には経済的負担をかけました

が、学生たちの喜びと郷里へ帰って中標津のことをみんなに話をしてくれることが大きな宣伝になると思いお許しいただいたく思います。

十月に入ってそれぞれの関係者で反省会を開き、来年のことも検討しなければなりません。来年実施される場合は是非ご協力いただきたく存じます。今年

はじめての企画でもあり、何かと失礼なこともあったと思っております。実施中お世話になつた多くの方々の熱意溢れる御協力にお礼を申し上げ、一人の事故もなく終らせていただいたことに感謝しご報告と致します。

生活講座 ③

越冬野菜の収穫と

野菜畑の清掃

北根室地区農業改良普及所

日暮れも早くなり、深まりゆく秋を肌で感じるようになりました。

北国に住む私達は、冬から春先までの約六ヶ月間は、貯蔵野菜にたよることになります。

(一) 越冬野菜の収穫

「だいこん」

生食向けは「ス入り」しないものを貯蔵したいので、過熟でなく、霜にあてないうちに若どりすることが大切です。

収穫の目安は、種まき後、七

〇日目頃が適当です。収穫後、葉切りと土砂落しを行い日陰で表面を乾燥させます。

少しでも大きくしようと長くおきすぎて「ス入り大根」にならないようにして下さい。

「キャベツ・ハクサイ」

霜にあてる前で、結球頂部が白っぽくなって過熟とならない八〜九分結球のものを収穫しま

す。収穫は、降雨後をさけ、晴天の日を選んで結球外葉四枚をつけて、株切りし、その後、外葉一枚をつけるように調整し、十分に乾かします。

「人参・ごぼう」

種をまいてから、人参で一二〇日目、ごぼうで二二〇日あたりが適当です。人参の根割れ、ごぼうの「ス入り」の原因は、ほとんど過熟によるものですから早目に掘り上げるようにします。

(二) 野菜畑の清掃管理

野菜畑での病害虫の発生は、一般によそから移ってくることも、病害虫におかされた葉茎・根の残留物が土中に年々残って、発生源になるといわれています。

収穫を終えた畑の清掃と、地力の維持管理は、翌年の作物生産の上でとても大切な作業です。

ハクサイ、キャベツなどアブラナ科の作物は、根元をよく見て根コブ病におかされている場合は、残留物を処分することはもちろん、アブラナ科の野菜を三〜四年作らないほうがよいでしょう。

また、うり類のつる枯れ、つる割れ、なす等の半身いちよう病は、土壤病害なので、土中に残すことは、翌年の発生をさらに

に多くする原因となります。

連作は、ぜひとも避けたいものですが、やむを得ず連作する場合は、病害虫の発生がなくても、根・茎・葉などの残留物は搬出した方が翌年の病害をおさえるためにも大切です。

(三) 地力維持と秋耕

堆肥や土壌改良資材の投入により、地力を回復させ土壌バランスを整えます。

野菜畑は肥料分が集積しやすいこともあり、秋耕は、できるだけ、深く行った方が良いでしょう。この場合は、土塊は細かく砕かず、塊のまま寒風にあてておいた方が、土塊中の病原菌や害虫の卵が死滅し、土も肥沃になるなどの利点があります。

来年の育苗床土は、今のうちに用意し、古ビニールや、わらなどでおおい、越冬させます。

糖尿病の治療

糖尿病の予防⑥

〈町福祉課〉

これまでの五回のシリーズで糖尿病を予防するために、①食べすぎないようにし、体を十分に動かすこと。時々体重を測って肥らないようにすること。②精神的な過労におちいらぬ様にうまく気分転換をはかること。③年に一回は尿や血糖の検査を受けることについてお話ししました。

今回、糖尿病の治療についてお話しして最後とします。昔は糖尿病にかかると短命だといわれましたが、最近治療法が進み正しい治療を続けていれば健康な人とほとんど変わらない

い生活を送れるようになります。糖尿病の治療の基本はそれぞれの人に適した食事と運動療法を続けることです。それで十分でない場合にインシュリン注射やのみ薬をつけ加えます。このような方法を守って糖尿病の特徴である余病(糖尿病を放っておくと脳卒中、心臓病、腎臓病、視力障害、感染症をひきおこします)を予防することが糖尿病治療に一番大事なことになります。又、検診を積極的に受けることも必要でしょう。



全道共進会開催さる!

道内各地から、能力・体型共に優れたホルスタイン約四〇〇頭が一堂に集合し、九月八、九日の二日間、勇払郡早来町のホルスタイン共進会場に於て、昭和五九年度北海道ホルスタイン共進会が華やかに開催されました。

メイン審査員は早来町の酪農家、山田明人氏でアシスタント審査員としてホルスタイン農協の門前道彦氏の二名で行われました。根室管内には四一頭の割当てがあり、うち七頭が中標津町農協の出品数で管内第二位

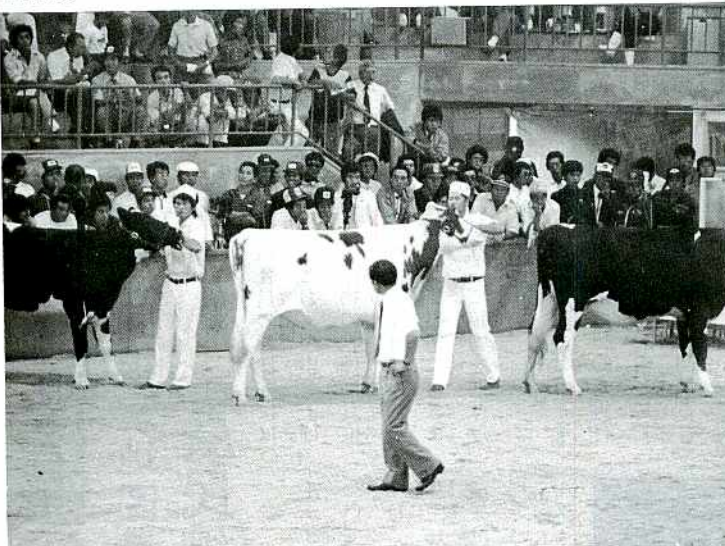
の出品頭数となりました。二日間の審査の結果、未経産牛最高位は佐呂間町、田中牧場の、ジェッシー・グレナフトン・バリアント号が春以来の負け知らずで堂々獲得し、また経産牛最高位は恵庭市清水牧場の、2フロントニア・クリッシー・マダム・ビーフタゴ号が獲得いたしました。審査の手順、進行の悪さなどに客席のあちこちか

ら不満の声が聞かれました。また、序列付についても問題のある部が二、三みられました。主催者は審査員の選考については、来年度は全日本共進会の手選も兼ねるので、主催者による審査員の選考については慎重にして欲しいものだと思います。中標津町農協関係については第六部で佐々木昭雄さん出品のエルシー・ベネット・エース・

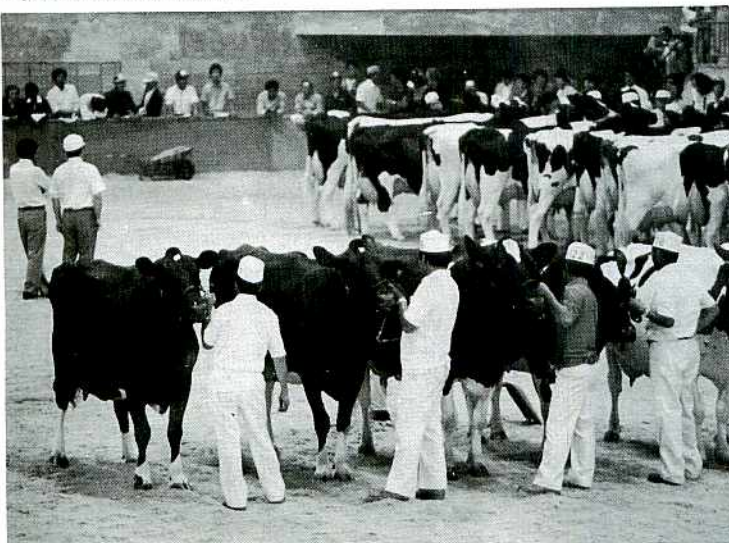
コピーライト・レッド号が二等二席(第八位)又、十一部で福島信一さん出品のバインデルハツヒメ・パーク号が二等七席(十二位)に入賞いたしました。その他の出品牛については最善の努力をしましたが、農協理事さんら二十名余の応援もむなしく惜しくも三等賞に終わりました。



審査風景



2等2席 佐々木昭雄さん出品牛



2等7席 福島信一さん出品牛(左端)

家族で収穫の喜び

第5回

じゃがいも伯爵まつり



じゃがいも掘り風景



子供たちに人気のあった牛乳早飲み大会

九月九日、農協青年部主催による第五回じゃがいも伯爵まつりが東武佐青年部畑作圃場で開催された。

回を重ねるたびに町民にも浸透し、今年は約千五百人の人出があり、一時は大駐車場が満車になる程の盛況で、対応に部員たちも汗だくであった。

天候も暑からず寒からずで、絶好のじゃがいも掘り日和。家族で収穫の喜びを味わっていた。

また一番心配していたいもに對する評判だが、今年は氣候がよかつたため、出来がよく、苦情ひとつなかつたことに、部員たちは胸を撫でおろしていた。

来年に向け新たな闘志

第2回根室地区農協共済

農民綱引大会

秋冷の候組合員の皆様方にはご清栄のこととお喜び申し上げますと共に農作物の収穫にお忙しい毎日の事と存じます。

平素農協の共済事業につきましては格別なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年より開催されております農協共済綱引大会は契約者組合員の健康管理活動の一環として過日中標津町体育館で開催されました。

今回の大会に際しましては組合員は元より農協青年部白築部長を始め部員の皆様方のご協力により当農協青年部より監督さん外十一人のチーム編成により二チーム参加致しました。九月三日から町内公設場を借り、二日に一回の練習を重ね、また他農協チームとの練習試合をするなど本番に向けての意気込みは大変なものでした。



二二日試合当日競技方法はトーナメント方式で戦われ勝敗についてはクジ運も悪く大変残念ではございましたが優勝とは成りませんでした。しかし練習の成果は二二〇パーセント発揮されていた試合内容でした。

又、来月十二月に札幌で行わ

れる全道大会に来年の試合に向けて勉強の為見学に出かけたいと言う意見も出ている力の入りよう来年の奮闘に期待したいと思います。

選手の皆さんコーチ監督さん大変ご苦勞様でした。厚くお礼申し上げます。

尚、上位三位迄の成績については次の通りです。

- 優勝 別海スーパーシックス
- 準優勝 別海ファイティングブルズ
- 三位 標津オックス



第八回理事会

開催月日 九月二十五日

開催場所 農協役員会議室

〈議案〉

一、固定資産（自家用バス）の取得について
 車種、いすゞ、定員四十八名
 取得価格、六、二五七、五〇〇
 円原案どうり承認され決定しました。

〈協議事項〉

一、府県の乳牛消流状況について
 役員による関東、関西四国

方面の乳牛追跡調査と販路拡大等について各々報告が行なわれ協議されました。

〈報告事項〉

一、管理購買委員会の経過について
 二、その他

(一) 農民連盟への事務所貸与条件について

(二) 職員研修報告について

(三) 新卒者採用について

(四) 地区別懇談会の日程変更について

(五) 道農協畑作対策について

(六) 澱粉工場の操業状況について

(七) 役員研修について

(八) 組助の電算利用料について

(九) 土地競落後の対応について

(十) 飼料、ビートパルプ等の情勢について

乳牛用配合飼料の体系変更

十月一日、製造分以降、銘柄が変更になります。C P、T D Nの量、バランスからみて次のような結びつきができませんので新飼料の切替え時にご注意願います。なお価格については、ニューバルキー十一は(旧ニューフレック十

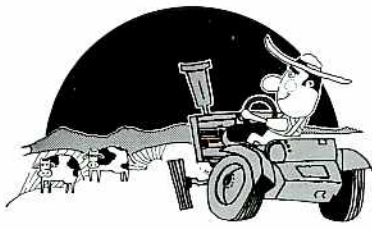
三対比)二〇円安スーパーバルキー一七〇は(旧ニューフレック二〇対比)二〇円高その他据置

一、特別対策について
 トン当り二〇〇円(精算時価格折込み)継続実施
 但し昭和五十九年十二月末日出荷分とする。

二、くみあい配合飼料釧路西港工場新築記念及びくみあい配合飼料の利用度向上のための奨励金
 トン当り一〇〇〇円

但し昭和五十九年十月一日から十二月末日出荷分とする。

対象品目、成牛用(乳牛用全製品)



(新銘柄)

(類似している旧ニューフレック)

CP-TDN		CP-TDN
ニューバルキー12 (12-70)	←	ニューフレック13 (13-71)
ニューバルキー16 (16-70)	←	ニューフレック16 (16-69)
ニューバルキー18 (18-70)	←	ニューフレック18 (18-68)
スーパーバルキー70 (20-70)	←	ニューフレック20 (20-67)
スーパーバルキー68 (20-68)	←	
スーパーバルキー75 (20-75)	←	スーパーバルキー (19-75)

十一月一日から農協の就業時間が変わります。

農協の就業時間が十一月一日から翌年四月三十日まで次のように変わりますのでよろしくお願ひ致します。

記

事務所(平日)午前九時から午後四時半まで

(土曜日)午前九時から正午まで

ストアール(平日)午前十時開店、午後六時閉店

スタンド(平日)午前九時から午後五時半まで営業

資材店舗(平日)午前九時から午後四時半まで

(土曜日)午前九時から正午まで

人工授精受付時間(平日)

午前八時から午後一時まで

(土曜・祝日)午前八時から午前十時まで

検査成績

9月	乳量	前年比
上旬	1,843,200.0	106.7
中旬	1,813,620.0	104.9
下旬	1,818,500.0	106.1
9月計	5,475,320.0	105.9
4月より累計	31,786,970.0	102.3

月別	ランク	0	1	2	3以上
		8	58年 689	176	20
		59年 480	286	16	3
9	58年	661	192	32	0
	59年	669	215	10	1

氏名	上旬	中旬	下旬	氏名	上旬	中旬	下旬	氏名	上旬	中旬	下旬	
西山一義	1	0	0	真野光章	0	1	0	武田淳志	0	0	0	
佐々木邦夫	0	0	0	寺島憲治	1	0	0	後木保意	0	1	0	
赤波江一彦	0	0	0	佐藤藤忠	0	0	0	久木栄興	0	0	0	
日下一芳	0	0	0	佐藤藤和	0	0	0	新井真博	0	0	1	
加茂正政	0	1	0	佐藤藤和	0	0	0	片野博	1	0	0	
佐三友盛	1	0	0	塩田專治	0	0	1	第二侯落地区				
高島貞行	0	0	0	五十嵐德次	1	0	0	西村德守	0	0	0	
福島信一	0	0	0	田中本輝	0	0	0	西垣洋清	1	0	0	
古田起一	0	0	0	安達和永	0	0	2	保科喜代助	0	0	1	
本中多村	0	1	0	志賀賀一	0	0	0	田代昭	0	3	0	
真野敏	0	0	0	志賀賀正	0	0	0	井口定則	0	1	1	
多田俊夫	0	0	0	篠永	0	0	0	安江孝男	1	0	1	
小伏岩正	1	1	1	侯落地区					安江孝男	0	0	0
中川一平	1	0	0	原栄一	0	0	1	銀持昭	0	0	0	
武佐	1	1	0	大木敏夫	0	0	0	斉藤靖	0	0	1	
丹羽賢孝	0	0	0	小林金司	0	0	0	山口幸樹	0	0	0	
中司哲雄	0	0	0	板橋壽	0	0	0	峰松秀	1	0	1	
上原德保	0	0	0	岩井昇好	0	0	0	冲一美	0	0	0	
工藤正儀	0	0	0	遠藤幸一	0	0	0	片岡宅次	1	1	0	
舟橋清高	0	0	0	遠藤正幸	0	0	0	弾正原春	1	0	0	
酒井清志	0	0	0	高橋文夫	0	0	0	国光昭	0	0	0	
目黒雅隆	1	0	0	松村晴	0	0	0	佐藤直行	1	0	0	
工藤重美	0	0	0	小山村正	1	0	0	来栖寛	0	0	0	
兒玉光彦	1	0	0	菅原弘志	0	1	0	川村清身	0	0	1	
白井田慶	0	0	0	上村重光	0	0	0	加藤藤七	1	0	0	
川口上一隆	1	1	0	上村力	0	0	0	萩原蝶	1	1	1	
長谷川武夫	0	0	0	松本正通	0	0	0	星野昇	0	0	0	
花尻武治	0	1	1	藤原信雄	0	0	0	滝本広	0	0	1	
中条由治	0	0	0	遠藤義	1	0	0	滝ヶ平義	0	1	0	
奥村保章	0	0	0	阿部稔	2	0	0	内山明作	0	1	0	
萱岡昌二	0	0	0	上ヶ島利春	0	1	0	八木原治郎	1	1	1	
高橋秀夫	0	0	1	山崎民	1	1	0	中浦健雄	1	0	1	
藤原勝一	1	1	1	藤田清一	0	0	0	前原秀隆	0	1	1	
林文雄	0	0	0	藤田誠	0	0	0	町原芳照	0	2	1	
佐藤敏昭	0	0	0	遠藤与二	0	0	0	房川喜清	0	0	0	
佐藤一賢	0	0	0	宮田実	1	1	0	富沢保夫	0	0	0	
清原山幸	0	0	0	鷲見孝	0	1	0	谷村茂夫	0	0	0	
湯山幸男	1	1	1	真渡利	0	1	1	武井弘	0	0	0	
門馬正文	0	0	0	渡田義	0	0	0	北村一	0	0	0	
中西文竜	1	0	0	相沢武	0	0	0	杉本匡	0	0	0	
石原井武	1	1	0	太田直	1	0	0	田島義	1	1	0	
土井上信	0	1	0	古瀬敏	0	0	0	佐藤幸	0	0	0	
土井上正	0	1	0	小谷盛	0	0	0	飯野盛	1	0	0	
小沼佐太	1	0	0	秋山一	0	0	0	横田日吉	1	0	1	
熊谷正信	0	1	0	齐藤雄	0	0	0	柳田治郎	0	1	0	
山本雪信	1	0	0	広瀬定夫	0	0	0	青木喜三	0	0	1	
				半沢勇	1	1	0	木本ふさ子	1	0	0	
				笠原良	1	0	1	関又左	1	0	1	
								横田好一	1	1	1	

質のよいミルクをつくるために これだけは守りましょう。

6つのルール

- 手と乳房を清潔にすること
- 搾乳装置を正しく選び正しく使うこと
- ミルクの適切な冷却と貯蔵
- 搾乳が終るたびに洗浄
- ライナーとミルクチューブの定期交換
- ミルクシステムの定期点検

※検査ランク2の場合は当日出荷乳量に1kg当り5円、3以上の場合には50円のペナルティが課せられます。

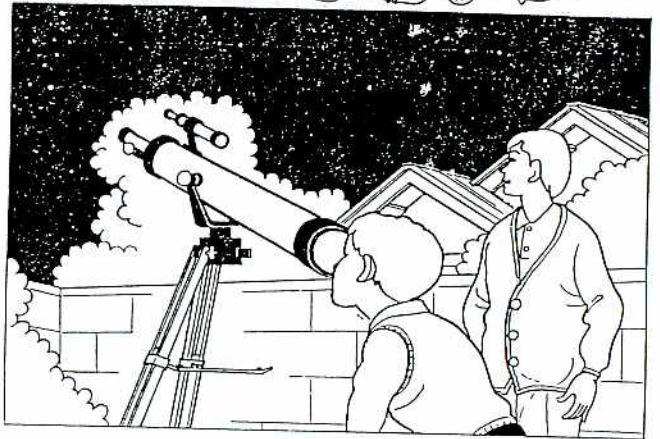
9月乳質

氏名	上旬	中旬	下旬
鈴木修	0	0	0
高橋一男	1	1	0
高平幸夫	0	0	0
中本要	1	1	1
半沢利平	0	0	0
国見一男	1	2	0
国見実	0	1	1
齊藤哲雄	0	0	1
齊藤栄七	1	1	1
伊藤秀子	1	1	1
千代清一	0	1	0
村井直行	1	0	0
山崎隆	1	0	0
後藤信夫	1	1	0
齊須清志	1	0	0
今井靖清	0	0	1
山井昭男	1	1	1
房川喜延	0	0	0
井上亮夫	0	0	0
笠井剛	1	1	1
赤堀岩男	1	1	1
鈴野敏夫	1	0	0
開陽牧場	0	1	0
依橋地区			
名越優	0	1	0
乾雅晴	0	0	1
乾洋	0	0	0
伊藤武雄	0	0	0
大山富孝	1	0	1
山下二治	0	0	0
北川栄正	0	0	0
水本正二	0	0	0
山本正八	0	0	0
榎本英雄	1	1	1
穴吹貞明	0	0	0
佐藤きえ子	0	0	1
佐々木昭雄	0	0	0
野口史郎	1	0	1
太田功	0	0	0
岡次郎	0	0	1
金子安有	1	1	0
高野国雄	1	0	0
中林勇	0	0	0
工藤隆弘	0	0	0
赤波江清	0	0	1
沢口俊夫	1	0	1
桜井義雄	0	0	1
西山健	0	0	0
大西一郎	0	0	0
大福英明	1	0	0
福島昭憲	0	0	0
下川原政市	0	0	0
三輪貞夫	1	1	1

氏名	上旬	中旬	下旬	氏名	上旬	中旬	下旬
当幌地区				長瀬貞義	0	0	0
飯島光五郎	0	0	1	石崎多門	0	0	0
飯島清市	0	0	0	林仁一郎	0	0	0
奥田勝佳	0	0	0	高藤祐威	0	0	1
奥田建雄	0	0	1	連田弘幸	1	1	0
中山進一	0	0	0	永谷雄幸	0	0	0
阿部俊勝	0	0	0	長繩弘	0	0	0
鈴木祥幹	0	0	0	麻郷地忠勝	0	0	0
西木垣丈	1	0	0	小針晴信	0	0	2
小原夫治	0	1	1	花川秀一	0	0	0
吉田正行	0	0	0	古沢翠稔	0	0	0
竹村満夫	0	0	0	花川輝男	1	0	0
高橋常次	0	1	1	岡部実行	1	1	1
筒井富良	0	0	0	渡辺善健	0	0	0
筒室井祐二	1	0	0	松隈二豊	0	1	1
安田一稔	0	0	0	古瀬久夫	1	0	1
山田一男	1	1	1	藤本清嘉	2	2	2
松田吉正	1	1	0	小佐道末	0	0	0
舟田正義	1	0	0	佐藤美	0	0	1
菊地良三	0	0	0	佐藤美	1	1	1
遠田要三	0	0	0	佐藤永雄	0	0	0
西田隆一				佐藤永雄	0	1	0
長正路清	0	0	0	望白幸政	1	0	0
大野富夫	1	0	0	望白幸政	0	0	0
大吉成ハナ子	0	0	0	武田勇	0	0	0
福村守	0	0	0	高橋敏夫	1	1	0
遠藤弘成	1	0	0	熊倉吉夫	0	1	0
唐崎幸司	0	0	0	小阿林部	0	1	0
中標津地区				阿佐藤	1	0	0
緩坂欣一	1	1	0	開陽地区			
緩坂恭民	0	0	0	土井上昭男	0	0	0
吉川晴久	0	0	0	向館金吾	0	0	0
滝場慎二	1	1	0	山田野男	1	0	0
久保慶一郎	0	0	0	浅野トミ子	0	0	0
久我良夫	0	0	0	吾妻紀己	0	0	0
正城一	0	0	0	鈴木嵩	2	1	2
荒昭一	0	0	0	桜井寿夫	0	0	0
桜井幸一	0	0	0	高橋勝義	0	1	0
佐々木繁雄	1	1	0	中丸本	0	0	0
佐藤信義	1	0	0	丸田良	0	0	0
三森章司	0	0	0				
下山幸一	0	0	0				

小・中学生の応募を
お待ちしております。

間違いさがし



この絵の中には、いくつ間違いがあるでしょうか。間違いを見つけて、その数をハガキに書いて送って下さい。

応募規定

- ①官製ハガキに答えを書いて送って下さい。
- ②あなたの氏名・住所・年令を書いて下さい。
- ③対象者 小・中学生
- ④宛先 中標津町東七条南二丁目 中標津町農協組織広報係
- ⑤締切日 十月三十日まで

*応募下さった方には全員参加賞を差し上げます。尚、正解者には当り賞を贈呈いたしますので多数応募下さい。

*正解者の発表は十二月号紙面で発表いたします。

へ八月号の当選者

八月号の正解は「三つ」(下の図の○印)でした。正解者は十名でした。

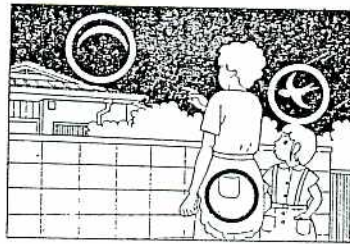
正解者には当り賞、正解でなかった方には参加賞を差し上げますので、農協広報係まで申し

出下さい。

正解者は次の方々です。

- | | |
|-----|----------|
| 西武佐 | 藤原智樹くん |
| 林 | 映子ちゃん |
| 南武佐 | 小沼 誠くん |
| 俵橋 | 中林重紀子ちゃん |
| 高嶺 | 小林英司くん |
| | 小林健一くん |

〈8月号の間違い箇所〉



知っておきたい

税の知識

〈根室税務署〉

◎年金と税金

厚生年金や国民年金などの公的年金や恩給は、所得税法上、給与所得の収入金額とされ所得税の課税対象となります。

年金や恩給が支払われる際に

- | | |
|----|------|
| 小林 | 稔くん |
| 阿部 | 香ちゃん |
| 阿部 | 忍ちゃん |
| 阿部 | 忍ちゃん |

表紙写真

今月号の表紙写真は当幌地区の吉田電子さん(二十才)です。高校を卒業後、一年八か月中標津の農機具会社に勤務され、五十八年一月に嫁いで来られた訳ですが、稲作の経験は全くなく、今でも不慣れな仕事があるので、早く一人前になつて、ご主人の手助けをしないと話しておられました。スポーツが大好きで、特にバレーボールは高校の時、選手だったそうです。中学の頃から自由で広々としたところで生活をしてみたかったとのこと。今、その夢が実現して、物静かな中にも、経営に対する意欲が感じられた若奥さんでした。



は、通常の給与と同様に所得税の源泉徴収が行われるわけですが、年金や恩給の額が年間六十万円未満(六十五歳以上の場合には九十万円未満)の場合には、扶養控除等申告書の提出は必要なく、また、源泉徴収もされません。さらに、老年人(六十五歳以上で年間の所得金額が一万円以下の人)が受ける公的年金や恩給については、これらの収入金額から「老年人年金特別

控除」として七十八万円を差し引くことができます。したがって、年齢が六十五歳以上で、その年中の収入が公的年金や恩給だけの人の場合、その収入金額が百九十三万円(老年人年金特別控除七十八万円、

給与所得控除五十七万円、老年人控除二十五万円、基礎控除十三万円の合計額)以下であれば、所得税はかからないことになります。